

## 被措置児童等虐待事案の状況について

児童福祉法第33条の16及び同法施行規則第36条の30に基づき対応した被措置児童等虐待の状況は、次のとおりです。

### 令和5年度（速報値）

#### 1 虐待案件受理の状況

| 受理件数 | 調査結果 |      |
|------|------|------|
|      | 該当   | 非該当他 |
| 9件   | 3件   | 6件   |

#### 2 被措置児童等虐待の状況

| 被害児童性別 |    |
|--------|----|
| 男子     | 女子 |
| 6名     | 1名 |

| 被害児童年齢階層 |     |     |     |
|----------|-----|-----|-----|
| 乳幼児      | 小学生 | 中学生 | 高校生 |
| 2名       | 5名  | 0名  | 0名  |

| 虐待の類型 |    |     |       |
|-------|----|-----|-------|
| 身体的   | 性的 | 心理的 | ネグレクト |
| 3名    | 0名 | 6名  | 0名    |

| 施設種別    |    |
|---------|----|
| 児童養護施設等 | 里親 |
| 3件      | 0件 |

| 職員等の職種 |    |     |
|--------|----|-----|
| 児童指導員  | 里親 | その他 |
| 2名     | 0名 | 2名  |

#### 3 県が講じた措置等

県では、被措置児童等虐待が疑われる事案を受理した場合、関係施設等を訪問し、子ども及び職員等からの聴き取り調査を実施しています。調査結果を児童福祉審議会権利擁護部会に報告し、同審議会の意見を踏まえ、3件の事案について虐待該当と判断し、施設等に対して再発防止策の取組み等について指導中です。